

# 公益財団法人 日本骨髄バンク 第91回 業務執行会議 議事録

開催方法：WEB 会議形式で開催

(本会議を WEB 開催することに関して全理事の同意を得た)

日 時：2023 年（令和 5 年）7 月 14 日（金）17:10～18:20

出 席：小寺 良尚（理事長）、岡本 真一郎（副理事長）、佐藤 敏信（副理事長）

浅野 史郎（業務執行理事）、加藤 俊一（メディカルディレクター）、石丸 文彦（理事）

鈴木 利治（理事）、瀬戸 愛花（理事）、橋本 明子（理事）日野 雅之（理事）

福田 隆浩（理事）、三田村 真（理事）、沓沢 一晃（監事）、藤井 美千子（監事）

欠 席：鎌田 麗子（理事）、高橋 聡（理事）

陪 席：横田 友子（厚生労働省健康局難病対策課移植医療対策推進室係長）

東 史啓（日本赤十字社血液事業本部技術部造血幹細胞事業管理課課長）

事務局：小川 みどり（事務局長兼医療情報部長兼広報渉外部長）、田中 正太郎（総務部長）

中尾 るか（ドナーコーディネート部長）、関 由夏（移植調整部長）

戸田 泉（ドナーコーディネート部 TL）、田中 真二（広報渉外部 TL）

荒井 茂（総務部 TL）、飯出 勝巳（総務部）、水口詞代（広報渉外部）

狩野瑞季（ドナーコーディネート部）、上原 淳（総務部）

(順不同、敬称略)

## 1) 開会

開会にあたり小寺理事長が挨拶した。

## 2) 業務執行会議の成立の可否

業務執行会議運営規則第 6 条により本業務執行会議が成立した。

## 3) 議長選出

業務執行会議運営規則第 5 条により業務執行会議の議長は理事長があたるとされ、小寺理事長が議長に選出された。

## 4) 議事録署名人の選出

議事録を作成するための議事録署名人は、業務執行会議運営規則第 8 条により議長及び出席した構成員が記名押印する。小寺理事長、岡本副理事長、佐藤副理事長、浅野業務執行理事がこれに当たるとされた。

## 5) 議事録確認

前回（2023 年 6 月 9 日）の通常理事会議事録を全会一致で了承した。

[議 事]

## 6) 報告事項（敬称略）

### (1) 公式 HP リニューアル

田中広報渉外部TLが口頭で説明した。

7月3日にバンクのHPが十数年ぶりにリニューアルされた。膨大な情報量を持つバンクのHPであるが、特に閲覧数の多いドナー登録を希望している方や既にドナー登録している方が重要な情報にたどり易いような工夫をしている。旧HPで閲覧数の8割がスマートフォンユーザーであったこともあってスマートフォンへの表示対応もしている。特に若い20代30代の方が親しみ易いHPを作っている。

## (2) バンクニュース 62号発行

田中広報渉外部TLが口頭で説明した。

同じく7月3日HPリニューアルと同じ時期に骨髓バンクニュース62号を発行した。昨年7月号に続いてWEB版と紙媒体の両方で作成した。ドナー登録者約40万人の方にはショートメッセージで案内してWEB版のバンクニュースをご覧いただく工夫をしている。寄付者には郵送で送っている。ドナーにショートメッセージで送っているが、1日に約3万人のペースで送信していて来週末にはすべての人に送信が終わる予定である。イラストを使ってドナーに登録情報や住所変更を呼び掛ける工夫をしている。特集ページには30代の移植経験者が働いている企業でドナー休暇制度を設けてくださった話や、学生の時に提供した方が、提供を通じて学校の公欠制度を設けてくださった話を紹介している。下の方に行くと、岡三証券グループ主催クラウドファンディング始動ということで今回バンクも初めてクラウドファンディングに参加していて寄付を募っている。

(主な意見)

<小寺> これは紙媒体でも行っているのか。

<田中> 寄付者には紙媒体でも行っている。ドナーにはショットメッセージの案内だけである。12月号は全員に紙媒体で郵送する。

<小寺> 理事監事には紙で送っているのか。

<田中> 送っていないかもしれないので、確認して送るようにする。

<小寺> 理事監事、評議員にも送ってください。

<三田村> ビフォーアフター、HPリニューアルしたことでどれくらい閲覧数が変わったかというフォローをお願いしたい。

<橋本> クラウドファンディングをやっていることを知らせる方法はどうしたら良いか。

<田中> バンク職員はメールの署名欄にクラウドファンディングをやっていることとURLを記載している。理事にもご案内差し上げる。

<橋本> URLだけでお知らせするための何かないか。

<田中> キャプチャ画像や見やすいものも作れるので合わせてお送りする。

## (3) プロジェクトオレンジ実行委員会

広報渉外部水口が資料に基づき説明した。

SNSの取組みについて報告させていただく。本年からTwitterでの情報発信強化に取り組む中で、バンクの認知向上と若年層ドナー新規獲得が喫緊の解決すべき課題であることから日々の発信業務と並行して専門家に協力いただきながら認知向上キャンペーンとしてプロジェクトオレンジの政策検討をして来た。こちらがキャンペーンのキャッチコピーとロゴになる。このプロジェクトの主旨に賛同して下さったプロの方々が作って下さった。若年層ドナー不足をはじめバンクが抱える様々な課題を解決するためプロジェクトオレンジを実施するに当たって実行委員会を立ち上げる。立ち上げの意義であるが、「実行委員会」とすることで、バンク内の部署や枠組み、バンク内外を超えて1つの目的の達成のために集まったメンバーをまとめることができ、さらに実体性を持つことで外部の方にも実行委員会に参加してくださいとお願いしやすくなる。お願いされた方もプロジェクトオレンジという認知向上と若年層ドナー獲得、あるいはドナーが提供のために休暇を取りやすくなる社会変容を起こすための行動に参加しやすくなる。メンバーはドナー応諾率向上WG - SNSチームに参加しているバンクメンバーと専門家でコアを構成している。今後、外部の企業や個人を募り実行委員会に参加していただく。期間は1年で課題解決まで更新する。2023年にプロジェクトオレンジとして実施する施策はこの3つである。世界骨髄バンクドナーデーである9月16日に記者発表および「#つなげプロジェクトオレンジ」キックオフミーティングをリアルイベントで実施する。これに先立ち9月上旬に所謂キャンペーン専用ページを公開する。9月16日まではティザーサイトという予告サイトという形でランディングページはリアルイベントと一緒に9月16日に公開する。10月の骨髄バンク推進月間に合わせて色々な企業、団体、インフルエンサーの方に協力いただいてTwitter公式フォロー&リツイートキャンペーンを実施して行く。

#### (主な意見)

- <小寺> 目標としてはバンク全体の周知を徹底する。皆さんに知ってもらいたいことなのか。
- <水口> はい。Twitterを使うことで従来よりも年齢層が若い人に届けるということもあるが、若い人が提供しやすくなるためには年齢が上の方々の協力も不可欠であると思っているので全年齢に対して認知向上を呼びかけて行く。
- <小寺> キックオフミーティングはインパーソンで行うのか。
- <水口> はい。
- <小寺> その時に外部の人に呼びかけられるだけ呼びかけるのか。それともキックオフミーティングが始まってから呼びかけるのか。
- <水口> 前者のキックオフミーティングに向かって呼びかける。

#### (4) 調整医師の新規申請・承認の報告

中尾ドナーコーディネーター部長が資料に基づき説明した。

令和5年6月1日から令和5年6月30日に新たに申請・承認された調整医師の人数は15名、異動・辞退は9名、合計で1240名である。

#### (5) 寄付金報告

田中広報渉外部 T L が資料に基づき説明した。

令和 5 年度 6 月の寄付金額は 759 万 2223 円、件数は 770 件であった。ここ 1～2 か月くらい有難いことに寄付の単価が上がって来ていると担当者が話をしていた。過去に数千円の寄付をしてくださっていた方が数万円にあげくださったり、初めて寄付してくださる方も比較的高額な寄付をくださっている。来週は中国電力労働組合が寄付贈呈式ということでバンクにお越しになる。中国電力は 1996 年から継続的に寄付をくださっていて今回で 26 回目になる。そのように継続して下さっている有難い寄付もある。

(主な意見)

<小寺> 今年度になってから 4 月に非常に大口の寄付があつて大変有難い。

## (6) 採取件数報告

田中総務部長が資料に基づき説明した。

2023 年 6 月の件数は国内 BM71 件、P B37 件、国際が 1 件で合計 109 件、第 1 四半期では昨年度より微増である。

(主な意見)

<小寺> 最近の海外の報告を見てもハプロ移植や臍帯血移植と比べてバンクドナーからの移植は血縁の H L A 遺伝的適合移植とほぼ肩を並べるとなっている。ぜひバンクドナーからの移植を皆様期待している訳であるから増やせるようにバンクの体制を整えていきたい。

以上